羽陽学園短期大学 令和6年度入学者選抜試験問題・出題意図

学校推薦型選抜(指定校)

■口頭試問

<内容>

複数の担当者による個人試問の形式で、高校までに学んだ幼児教育及び福祉に関する 基礎的な知識について問う。

<意図>

個人試問の形式で実施する口頭試問における、複数の口頭試問担当者からの質問への 応答を通して、本学の修学に必要な基礎的能力をはかる。幼児教育及び福祉に関する知 識、及び知識を活用した分析力を有しているか、質問内容に即した説明を的確に行える か(「知識・技能」)が、評価の観点となる。

学校推薦型選抜 一般

■小論文

<試験問題>

大久保寛司 著 「あり方で生きる」エッセンシャル出版社より抜粋 (この部分につきましては、著作権の関係上HPでは公開しておりません。)

[問題] 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一、この文章の要旨を 200 字以内でまとめなさい。

問二、傍線部分の「人は相手によって、出す側面を変える」について、自分が周りの 人から素晴らしい側面を引き出す存在になるためにはどうしたらよいか、これま での経験を踏まえて600字以内で述べなさい。

<出題意図>

• 間一

出題文で述べられている筆者の考えの要約を通して、受験生の読解力と、所定の字数で 筆者の考えを説明する文章を作成するための知識・技能をはかる。人は相手によって、出 す側面を変えることについての理解(「思考力・判断力」)、筆者の考えに沿って的確にま とめられるか(「知識・技能」)が、評価の観点となる。

• 間二

自分が周りの人から素晴らしい側面を引き出す存在になるためにはどうしたらよいか、 受験生自身の考えを明確にした上で、その理由を自身の経験を基に論じることを通して、 論を展開するための知識・技能、論理的思考力や判断力、文章表現力を測る。また、自ら の考えについて、整合性のある理由を挙げて説明し(「思考力・判断力」)、的確に論じる ことができるか(「知識・技能」「思考力・表現力」)が、評価の観点となる。

総合型選抜

■自己紹介文

<試験問題>

「今まで頑張ってきたこと」について、200 字以内で述べなさい。

<出題意図>

これまでの努力事項についての論述を通して、自分の長所を把握して明確に記述する ための知識・技能、思考力、判断力、文章表現力をはかる。これまでの努力事項を具体 的に把握し、所定の字数で的確に表現できるか(「知識・技能」「思考力・判断力・表 現力」)が、評価の観点となる。

■口頭試問

<内容>

複数の担当者による個人試問の形式で、高校までに学んだ幼児教育及び福祉に関する 基礎的な知識について問う。

<出題意図>

個人試問の形式で実施する口頭試問における、複数の口頭試問担当者からの質問への 応答を通して、本学の修学に必要な基礎的能力をはかる。幼児教育及び福祉に関する知 識、及び知識を活用した分析力を有しているか、質問内容に即した説明を的確に行える か(「知識・技能」)が、評価の観点となる。

第二期一般選抜・第二期社会人選抜

■小論文

<試験問題>

池上 彰 著 「池上彰が大切にしている タテの想像力とヨコの想像力」講談社+ α 新書 2023年より抜粋

(この部分につきましては、著作権の関係上 HP では公開しておりません。)

[問題] 次の文を読んで問に答えなさい。

問一、この文章の要旨を200字以内でまとめなさい。

問二、筆者は、傍線部分で「さあ、あなたの生まれ持った想像力の翼を広げようではありませんか。」と、あなたに投げかけています。それでは、どうして筆者はこのような投げかけをしているのでしょうか?あなたの体験を交えて600字以内で説明しなさい。

<出題の意図>

• 間一

出題文で述べられている筆者の考えを決められた字数で要約することにより、受験生の読解力を、文章作成を通してはかる。生き残れなかった「ネアンデルタール人」と生き残った

「現生人類」の理由に関する理解(「思考力・判断力・表現力」)を、筆者の考えに沿って的確にまとめられるか(「知識・技能」)を、評価の観点とする。

・間二

生き残った「現生人類」が、「ネアンデルタール人」とは違い、想像力を力にしたり仲間と協力したりしながら冒険していったことに関して、自分の思いを論述した文章から論理的思考力や判断力、文章表現力をみる。特に自分の経験と出題文の内容を比較しながら、文章内容について的確に論じることが出来るか(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」)が、評価の観点となる。

全ての入学者選抜試験

■面接

<内容>

複数の担当者による個人面接の形式で、幼児教育及び福祉、社会問題に対する関心、 将来への展望、向学心等について問う。

<意図>

個人面接の形式で実施する面接における、複数の面接官からの質問への応答を通して、自己分析力、受験生の幼児教育及び福祉への関心の高さ、学業修得の熱心さ、コミュニケーション力をはかる。質問の意味を理解し、自分の考えを的確に表現できるか(「思考力・判断力・表現力」)、幼児教育および介護福祉への関心の高さ、学業修得の熱心さ、知的好奇心の強さ、自分を育てる意欲の強さ、協働性が認められ本学における学修への意識や姿勢が適格なものであるか(「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」)が、評価の観点となる。